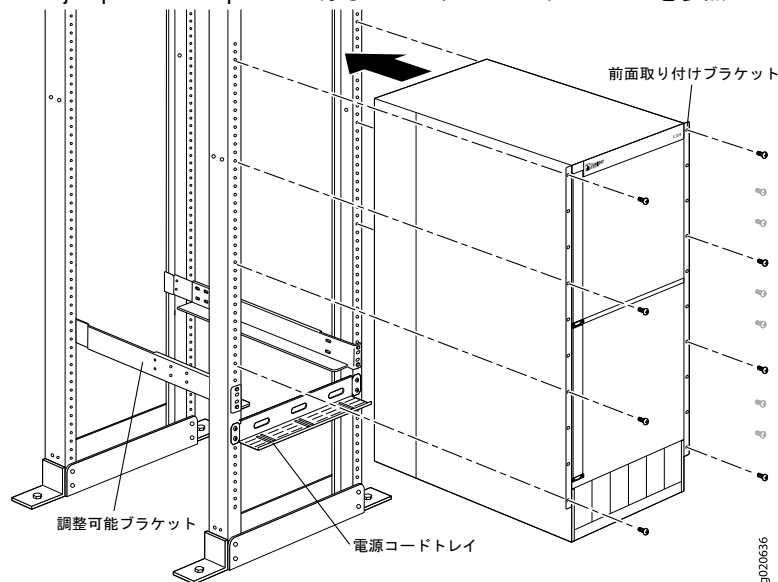


# EX8216 スイッチ クイック スタート ガイド

Juniper Networks EX8216 イーサネット スイッチを設置し設定するには、次のものが  
必要です。

- メカニカル リフト（別途用意が必要）
- 調整可能取り付けブラケット（4 個）、ねじ合計 12 本（付属）
- ご使用の 4 本柱ラックに適切な 36 ~ 40 本の取り付けねじ（調整可能取り付けブラケットをラックに取り付けるための 16 本、前面取り付けブラケットをラックに取り付けるための 20 本、オプションの電源コードトレイをラックに取り付けるための 4 本）（別途用意が必要）
- 設置地域に適したプラグ付きの電源コードおよび電源コードリテーナ（各電源装置用）（付属）
- オプションの電源コードトレイ（付属）
- RJ-45 コネクタ付きイーサネット ケーブル（付属）
- 静電気放電（ESD）接地ストラップ（付属）
- プラスドライバー（ラック取り付けねじのサイズに適切なもの、調整可能取り付けブラケット用の No. 2）（別途用意が必要）
- イーサネット ポートを備えた、PC などの管理ホスト（別途用意が必要）

注：以下の指示は、4 本柱の 19 インチ ラックへ設置する場合に該当します。このクイック スタート ガイドに記載された作業や他のセットアップ作業についての詳細は、<http://www.juniper.net/techpubs/>にある EX シリーズ ドキュメントを参照してください。



## パート 1: スイッチの取り付け

1. 接地ストラップを手首に直に着け、シャーシの ESD ポイントに接続します。
2. 耐震固定されたラックを準備します。
3. シャーシ用の 21 U のスペースがあるラックの最低位置に、調整可能取り付けブラケットを取り付けます（電源コードトレイを取り付ける場合は 22 U）。

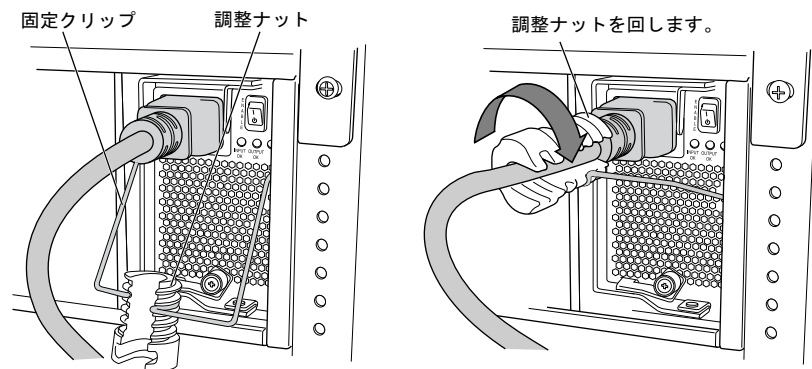
注：複数のユニットをラックに取り付ける場合、最も重いユニットをラックの最下部に取り付けます。そして、他のユニットを重さの順に下から上へと取り付けます。

4. (オプション) 電源コードトレイをラックに取り付けます。
5. メカニカル リフトを使用して、ラックにスイッチを配置し、ラックのねじ穴とブラケットの穴を合わせます。
6. 前面取り付けブラケットの各穴に取り付けねじを装着します。

## パート 2: スイッチへの電源の接続

電源装置は、シャーシに前もって取り付けられています。各電源装置について：

1. 電源装置がシャーシに完全に挿入され、ラッチで確実に固定されていることを確認します。
2. **Enable** スイッチを Standby 位置にします。
3. 電源コードリテーナのクリップの両側を押します。AC 機器コンセントの両側にあるブラケットの穴に、クリップの L 字型の端を挿入します。
4. 電源コードのカブラー端を AC 機器コンセントに挿入します。
5. 調整ナットの溝に電源コードを押し込みます。ナットがカブラーの基部に接し、ナットの溝がスイッチの上部から 90° 回転するまで、ナットを回します。



6. AC 電源コンセントに電源スイッチがある場合は、スイッチを OFF (0) 位置にセットします。
7. 電源コンセントに電源コード プラグを挿入します。
8. AC 電源コンセントに電源スイッチがある場合は、スイッチを ON (I) 位置にセットします。
9. 電源装置のフェースプレートにある **INPUT OK** LED が点灯したままになっていることを確認します。
10. 電源装置の **Enable** スイッチをオン位置にします。

## パート 3: 初期設定

注：設定を始める前に、スイッチが IP アドレスを動的に取得できるように、スイッチに接続する管理 PC の DHCP クライアントを有効にします。

注：以下の手順を読んでから、設定を始めてください。EZSetup を使用して、10 分以内に初期設定を完了する必要があります。LCD パネルにカウントダウン タイマーが表示されます。スイッチは 10 分後に EZSetup を終了します。すると、スイッチは出荷時のデフォルト設定に戻り、PC はスイッチへの接続を失います。

1. スイッチを初期設定モードへ移行させるには、LCD パネルの右にある **[Menu]** ボタンおよび **[Enter]** ボタンを使用します。このためには、以下の手順を実行します。
  - MAINTENANCE MENU と表示されるまで **[Menu]** を押します。 **[Enter]** を押します。
  - ENTER EZSetup と表示されるまで **[Menu]** を押します。 **[Enter]** を押します。EZSetup がメニューにオプションとして表示されない場合、**[Factory Default]** を選択して、工場出荷時のデフォルト設定にスイッチを戻してください。EZSetup がメニューに表示されるのは、スイッチが工場出荷時のデフォルト設定に設定されているときに限ります。
  - **[Enter]** を押して、セットアップを確認し EZSetup へ進みます。
2. PC のイーサネット ポートからのイーサネット ケーブルを、スロット RE0 にあるルーティング エンジン (RE) モジュールの **MGMT** ポートに接続します。  
インターフェース (スロット RE0 にある RE モジュールの **MGMT** ラベルが付いたポート) は、DHCP サーバーとして設定されています。デフォルトの IP アドレスは 192.168.1.1 です。スイッチは、管理 PC に IP アドレスを割り当てることができます。IP アドレスの範囲は 192.168.1.2 ~ 192.168.1.253 です。
3. PC から Web ブラウザを開き、アドレス フィールドに <http://192.168.1.1> と入力して、Enter キーを押します。
4. J-Web ログイン ページで、ユーザー名に **root** と入力し、パスワード欄は空欄のままにして **[Login]** をクリックします。
5. Introduction ページで **[Next]** をクリックします。
6. Basic Settings ページでホスト名を入力し、パスワードを入力してから再入力し、タイムゾーンを指定します。また、スイッチの日時設定と管理 PC の設定を同期させるか、スイッチの日時設定を手動で設定します。
7. **[Next]** をクリックします。
8. Management Options ページで **Out-of-band Management—Configure management port (帯域外管理 — 管理ポートを設定)** を選択し、管理インターフェースを設定します。
9. **[Next]** をクリックします。
10. 管理インターフェースの IP アドレスとデフォルト ゲートウェイを指定します。
11. **[Next]** をクリックします。
12. Manage Access ページで、Telnet、SSH、および SNMP サービスを有効にするオプションを選択できます。SNMP については、Read community、Location、Contact の情報を設定できます。
13. **[Next]** をクリックします。Summary ページに、選択した設定が表示されます。
14. **[Finish]** をクリックします。設定が、アクティブなスイッチ設定としてコミットされます。これで CLI または J-Web インターフェースを使ってログインし、スイッチの設定を続けることができます。

**注:** 設定がコミットされた後、PC とスイッチとの間の接続が失われる場合があります。再接続するには、IP アドレスをリリースして更新します。それには、PC で適切なコマンドを実行するか、イーサネット ケーブルを取り外してから再び差し込みます。

#### 安全上の注意の要約

これは、安全上の注意の要約です。訳を含む警告の完全なリストは、<http://www.juniper.net/techpubs/> にある EX シリーズ ドキュメントを参照してください。



**警告:** 以下の安全上の注意を守らないと、けがまたは死亡に至る場合があります。

- 訓練を受け資格のあるスタッフのみが、スイッチ コンポーネントの取り付けや交換を行ってください。
- 本クイックスタートガイドまたは、EX シリーズのドキュメントに記載された手順以外の作業をおこなう場合、販売店へご確認ください。
- スイッチを設置する前に、EX シリーズ ドキュメントの計画に関する指示を読み、設置場所が、スイッチの電源、環境、およびすさまの要件に合致することを確認してください。
- スイッチを電源に接続する前に、EX シリーズ ドキュメントの設置手順を読んでください。
- メカニカル リフトを使用しない EX8216 スイッチの設置は、サポートされていません。
- ラックに安定装置がある場合、ラックに安定装置を取り付けてから、ラックでのスイッチの取り付けや保守を行ってください。
- 電気部品の取り付けの前または取り外しの後には必ず、電気部品は、コンポーネント側を上にして、平らな帯電防止面上に置くか、または静電気バッグに入れてください。
- 雷雨の際には、スイッチでの作業またはケーブルの接続や切断を行わないでください。
- 電力線に接続されている装置で作業する前に、指輪、ネックレス、時計などの宝飾品類を取り外してください。電源またはアースに接すると、金属が発熱し、重いやけどの原因となったり、端子に溶接されてしまう場合があります。
- AC 電源装置と DC 電源装置を同じシャーシで混在させないでください。

#### 電源コードに関する警告 (日本)

付属の電源コード セットはこの製品専用です。他の電気機器に使用しないでください。

#### Juniper Networks へのお問い合わせ

テクニカル サポートについては、  
<http://www.juniper.net/support/requesting-support.html> を参照してください。